

# 事業報告

〔 自 平成20年 4月 1日 〕  
〔 至 平成21年 3月31日 〕

## 1. 事業の経過と成果

「かながわサイエンスパーク／KSP」は、地域経済の活性化を目指す実践的な先駆プロジェクトとしてスタートし、20年余の歳月を経て、(財)神奈川科学技術アカデミーとの連携により、科学技術の発信基地ならびに起業家の育成・創造拠点としての一定の評価を受けるまでにいたっております。

当社はKSPの中核的事業主体として、近隣のみならず、広く神奈川県内全域を視野に入れたインキュベーション機能の充実を意図とするブランチ・サテライト構想の実現を含め、外部環境の変化に能動的に対応する所存です。

当社の事業収支について、当期の収支状況は以下のとおりであり、前期比増収増益となりました。これにより、13期連続の利益計上となり、昨年度から志向する継続的な配当を実質的に実現する年度となりました。

当期の売上高は1,331百万円で、前期比15百万円の増加となり、また、費用面では、売上原価は817百万円 前期比3百万円の減少となっています。

以上により、当期の経常利益は204百万円、法人税等控除後の当期純利益は123百万円と前期実績107百万円を上回る利益計上となりました。

## 2. 会社が対処すべき課題

当社は、研究開発型企業の集積拠点・新産業創造基地として位置づけられるKSPの中核的事業主体として社会的使命を果たし、インキュベータとして蓄積してきたノウハウに、更に創意工夫を加え、ベンチャー企業に対し時代のニーズに適合した創業・成長支援の強化を進め、有力企業の輩出等に最大限の努力をする決意であります。

そのため、神奈川県全域を視野に入れ、当社の存在と事業内容をさらに広くPRし、インキュベータ事業推進のためのブランチ・サテライト構想実現へ向け努力するとともに、一層の安定かつ持続的な発展を目指してまいります。